



穂 中 便 り

学校教育目標：知育・体育・徳育・経営

令和4年度

第 8 号

令和4年10月24日

むかわ町立穂別中学校



学校とは！？～学力の向上と全人教育～

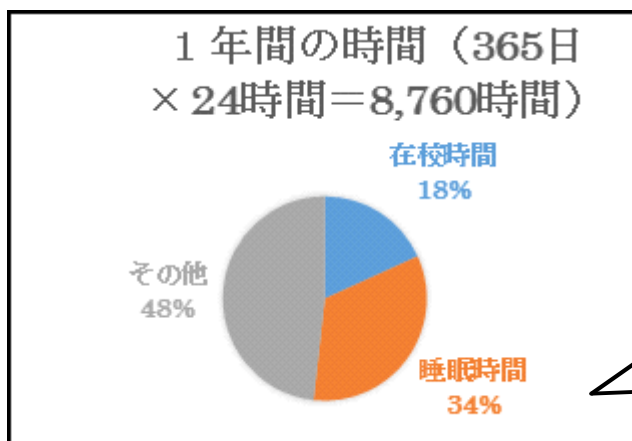


校長 三 品 秀 行

先月、学校行事としては最も大きな「学校祭」を無事終えることができました。これも一重に、PTAをはじめ、多くの皆様の御理解と御支援の賜物と感じております。心からお礼を申し上げます。

また、今月の初旬には、今年度から2回配付にした通知表をお渡ししました。保護者の皆様は御覧いただけたことと思います。その是非については、次年度の学校経営をする上で大変貴重な御意見として伺いたいのので、お気付きの点などがございましたら、遠慮なく御連絡いただけるとありがたいです。

さて、子どもたちは、1年間でどのくらい学校にいるのかということを考えてみます。



1年間を365日とし、登校日を200日とした場合

在校時間：8時間×200日

睡眠時間：8時間×365日

その他：8時間×200日＋

16時間×165日

として計算

このようにグラフにしてみると、子どもたちは1日の大半を学校で過ごしているように感じますが、実際は、約18%（2割弱）しか学校にいません。その中で、いわゆる9教科と言われる教科の授業時間は、年間1015単位時間（≒845時間）だけであり、1年間にある時間の1割弱の時間しか教科の勉強をしていません。とどのつまり、学校の勉強時間だけでは、なかなか理解することが難しい生徒がたくさんいるということです。しかしながら、学校は教科の授業だけ教えているのではなく、道徳心や社会人としての心構え、特に中学校は、次のステップにつながる“出口教育（進路指導）”も行っています。そのように考えると、如何に家庭での学習時間が大切であるか明白だと思えます。

先日、今年度の全国学力・学習状況調査の結果が公表され、本町・本校についても公表しました。（本町の結果については、北海道教育委員会のHPを御覧ください。）とりわけ、本校においては、未だ全国平均に満たない状況が続いており、これは私たち教員も重く受け止めているところです。そこで、先月初めには、「穂中学力向上プロジェクト2022 vol.2」というチラシを全ての御家庭に配付させていただき、学校の取組をお知らせしたところです。そこで、本校の課題となったのは、「家庭学習時間の少なさ」と「マルチメディアへの接触時間の多さ」です。こればかりは、学校でいくら指導しても家庭での時間を監視することはできませんので、子どもたち一人一人の努力と御家庭での支援がないと改善できません。

文科省では、学校の意義について学習指導要領にまとめていますが、まずは、全人教育できる下地を作る、家庭教育の充実をぜひお願いしたいと考えています。勉強することは、私たちのように大人になっても続きます。教育基本法では、“生涯教育”というフレーズも出てきます。どうか、予測困難な未来を担う子どもたちが、その人格を形成する全人教育を施すためにも、今、目の前にある「学力の向上」という困難な壁を乗り越える力を育て、基礎的な学力の育成に向けてお力添えください。よろしくお願いします。



第2学年 職場体験学習



今年度も第2学年のキャリア教育の取組として、10月13日（木）と14日（金）の2日間、穂別地区の6カ所の事業所の皆様の御協力のもと、職場体験学習を実施することができました。生徒達にとって、将来の自立に向けた大変貴重な機会となりました。御協力いただいた事業所の皆様、ありがとうございました。



<御協力いただいた事業所>

由布農園 様
むかわ町立穂別図書館 様
穂別苫小牧森林組合 様
むかわ町さくら認定こども園 様
むかわ町穂別総合支所 様
むかわ町立穂別小学校 様



ふくしだよりの表紙を飾る！

3年生の後藤魁君と中條光さんがむかわ町社会福祉協議会の広報誌（ふくしだより）の表紙を飾りました。生徒会活動で、全校生徒から回収した空き缶のプルタブ910gを地域福祉に役立てる目的で寄贈した時の様子が掲載されました。



<今月の食指導>

今年度6回目の今月は朝食をテーマに学習しました。生徒達は、朝食に適した食材や、その食材に含まれる栄養分について、北本先生のお話と資料から理解を深めていました。次回は、11月18日（金）の実施を予定しています。



10月3日（月）生徒会役員選挙 ～新たな体制へ～

10月3日（月）の第6校時に生徒会役員選挙を実施しました。むかわ町選挙管理委員会から実際の選挙で使用する投票箱と記載台を借用し、生徒達は、本物の選挙に近い形で投票を行いました。新たに選出された5名の役員と全校生徒が力を合わせ、穂別中学校をさらに発展させていくことを期待しています。

☆会長→太田小百合（2年） ☆副会長→瀧川蓮斗（2年） 内海遥貴（1年）
☆書記→遠藤隼（2年） ☆会計→池田柚風（1年）



感謝状を贈呈しました。

9月27日（火）に穂別小学校の中嶋校長と穂別中学校の三品校長が、遠藤建設株式会社（泉山宏昭代表取締役）を訪問し、感謝状の贈呈を行いました。

6月と9月の2回にわたって校内で使用する物品や消耗品を両校に寄贈していただき、校内の教育環境整備に尽力していただいたことに感謝の意を表し、感謝状を贈呈しました。泉山代表取締役は、「コロナ禍で様々な教育活動が制限される中、少しでも明るい話題を提供したかった。少しでも子どもたちのために役立つことができたと思う。是非有効に活用してほしい。」と話していました。



体育館のピアノ

本校の体育館で使用しているグランドピアノは、平成3年に旧仁和小学校が札幌市の学校法人光塩学園の学長、南部あき子氏から寄贈されたピアノです。平成29年の仁和小学校の閉校に伴い、本校で引き続き使用することになり、現在に至っています。

10月14日（金）に南部あき子氏のご子息に当たる学校法人光塩学園現理事長の南部しず子氏と現学長の嶋原正世氏が来校し、ピアノを御覧になり、写真撮影をしました。南部家の足跡をたどるための資料とするそうです。ピアノはこれからも大切に使用させていただきます。



<保護者の皆様へ>

11月7日（月）～13日（日）は穂別地区家庭学習強化週間です。この取組は今年度に入って2回目になりますが、穂別小学校との連携をより深め、家庭での学習習慣の定着を目標に取り組みます。具体的な取組内容は、後日、お子様を通じてパンフレットを配付しますので、そちらを御覧下さい。各御家庭におかれましては、目標の達成に向けて、お子様への声かけや激励をお願いします。